



サカタニ友の会 ニュース

少なくなつた

戦時疎開を 知る世代

72年前、当然の様に使われていた疎開公園写真は、戦後昭和27まで規制が掛かっていた、建物建築は制限された。

今や知る人も少なくなつた。その頃明治時代の尋常小学校が、国民学校に変つた。3年生から男子は剣道、女子は長刀を教えられた。昭和の時代でも役に立つとは思えないが、

昭和16年(癸二)12月8日ハワイの真珠湾奇襲攻撃で、世界中に戦争は拡がった。当初は相手に準備不足も有り大東亜共栄圏の国々に、軍を進めた。昭18年5月、北方のアメリカ領アッツ島、島を守備していた日本軍守備隊の600人が全滅。大本営下り「最後の突撃を行い玉砕した」と報られた。国民学校5年生時、

更に、体制を整えた連合軍が、南太平洋の日本領だったサトウ島も占領。玉砕、その島に米空軍基地が出来た。以後、空襲は、火曜と金曜の日二時間目が地理の時間に、浴・テニスを組んだように。定期的空襲警報が出た。戦災を恐れ五条・お池、堀川通の建物疎開が始まった。本町通茶店見の東側を片ける予定だったが、一部実施されなかつた。空襲対策で、京都市は20年4月から児童集団疎開で、家族から引き離され、農村部に移された。疎開先が親戚の場合は縁故疎開と言っていた。幼少時、虚弱体質だった私は、集団では無理と思われ明治末期まで先祖が住んで居た炭山(現・宇治市)の縁故疎開をした。当時は、多量気もなく新聞も3日纏めて来る山村で、峠越に見る空襲で、赤く染まった夜空を見て、京都は無かつたかと心配をして、京都から帰ると、裏山から木材運の作業をした。お陰で、弱かつた身体は、見違える程丈夫な女子になった。敗戦で京都に戻ったが、疎開地の友達とは今も年に一度は逢っている。私達の世代は、小・中高校生時代の学友同窓会が、今もつづけている。立命館高校を昭27年に卒業したが、その卒業時の3年3組にクラス会は、担任の柳田先生の提案で、裸木会と名付けられ、先生がおこなうなりました。今年も年々開かれつつある。会の纏め役は、先生に指導でクラス員を、奇数人数のグループを創り、そのグループが順番に担当してきた。卒業後、50年以上の最古は、メンバーが亡くなる人が増え、順番制になっている。当初は柳田先生担任の3組のク

発行者 株式会社サカタニ 集楽園サカタニ ファミリーマート サカタニ京阪七条店 〒605-0993 京都市東山区日吉町222 (七条こころ坂) Tel. 075-561-7974 URL www.sosake.jp/ E-mail info@sosake.jp 月刊 発行会員新聞 編集酒谷義郎

第3日曜日開催日9月17日(定例:朝9時) 第152回:朝粥食へておシャベリ会 ご講演:鈴木朋子様(報告者) 高木英智様



講演者 鈴木朋子様

本日の講師は鈴木朋子さん。本日の講師はメイク・ア・ウィッシュ事務局長の鈴木朋子さん。メイク・ア・ウィッシュとは願いごとをするという意味。メイク・ア・ウィッシュという団体は難病と闘う子どもたちの夢をかなえることに取り組みされている非営利のボランティア団体。病気が重くなると、笑顔が消えていく。笑うのはエネルギーのいることだと気づかされる。病気が治つたらねと先延ばしにされてしまふ子がたくさんいる。難病のこともわたくしはかわいそなうと思う。自分が夢を持つことと、その夢をかなえ、すばらしい笑顔になり、生きる力や病氣と闘う勇氣をもつてもらうように取り組む。その夢をかなえるのはひとつだけ。たと



え、車いす用の車いすを希望したい。でもは車いすだけではなく、夢をあきらめな

ラズ会だつたが、近年は、他クラスの人も参加する様になり、卒業後、半世紀以上もなる人も、毎年度の開催の連続している。高校だけ無く、昭21年卒業した貞教国民学校同窓会も、年1回のペースで開かれる。卒業生30人、男女合わせて百人を越えていたが、かなり減つた。昨年来、当時女子組担任だった櫻井麗子先生90才が、ご参加。ソプラで名曲を聞かせてくださった。既に80才を越えて、毎年、幾人かは、遠く行き、見た目、老人会だが、気分は、青少年時代に、参加者は長生きする。同窓会である。旧友は、良薬のこしー昨年十月号「ヨシちゃん」のひびきで書きましたが、

毎月七日:恒例:七条大橋をキレイにする会 ◎日時:十月七日(土) ◎集合:七条大橋 東詰南 作業時間 219時~10:30 ◇掃除用具:手帚 雑巾 小さいスリッパ等は各自ご持参等ご持参ください。 ◇終了後 集西楽サカタニにて 小一時間程 お茶を飲み反省会写真・毎回参加の 清掃協力中の フラワーパッドの お二人様で

▼後、約七年弱(三百名)です。個人発行の月刊新聞の最長記録が、何号か?は存じませんが、気がが続く限り続けたいと思つています。迷惑でしょうか、ボケ防止協力とお思い下さつて、お付き合いを宜しく!!

とんつき 今月号 りんは、何時と同じ日から組んだのですが、お届が大幅に遅くなり申訳ありません。大した理由があるわけではなく、年齢(83)の所為です。 ▼我家は代々男性は、比較的に早く死に、祖父は58才で、父は63才でした。それで、ヒトトすると、91歳まで生きた実母の血を引継いだのでしょうか。 ▼ついこの間まで、人生は50年とか言われていたが、今や50歳は青年の様です。予、その頃は戦争で若くして、殺された人も多かつたので、単純的に比較は駄目しょうが...

なんた坂 こんな坂



映画：雲流れ果てに

1953年に重宗プロと新世紀映画が製作し、松竹と北星映画が配給した家城日代治監督の日本映画。雲ながるる果てに」と題する映画製作支援会合が、今熊野権現神社で有り、友人に誘われ参加しました。

その頃、私を育てて呉れている母が、実母で無いことを知り、自分自身の将来を悩んでいました。映画感想会の後、夫々の悩みの相談云々の様な形になり、母との折り合いをどの様にすれば良いのだろうか。とお聞きしました。我が父は、超色男で、母の違う弟、妹が居ましたので、一人の方が、君は、お母さん側に立つて、お母さんの悩みを、和らげる様に勤めるべきだ」と意見され、更に、根源は、父上の男尊女卑の封建思想が有るのだから、それと闘うことが、社会正義だと言われ、その様に心掛け、(母との関係は少し改善しました。後、その友人に誘われ、当時の東山診療所隣下で開かれていた、東山日曜会 社研にも参加。その数ヶ月後、日本共産党員になり、(もう酒谷家とは無縁だと家を飛出し、当時、南山城大水害地の井手町に常駐 政治活動)に専念してました。

その翌年、父が経営していた酒問屋酒谷本店」が経営危機になり、家に呼び戻され、債権者集会」で、私が参加する条件で、債務の返済猶予と法人化し「継続」の案が出され、父の心

ねを察し、酒屋を手伝うことになりました。それを一番喜んでくれたのは、今月10日命日の祖母きぬです。その日は、現在地で新開店5日後でした。更にその後、共産党内で、六全協と言われる会議が有り、大幅な方針転換有り、私心なく活動していた行為も含めて猛烈な批判を受け耐えきれずに、離れました。

が、元々、気弱で、超大人しい子供だった私が、友人達がビクビクする程大変化したのは、その間に、自己を捨て、激しく、厳しい「政治活動や、水害地救援活動」を「ボランティア」のお陰で思っています。

この「とんからりん」も、その大昔のS新細胞新聞の作成した経験の思い出しながら創っています。最近チヨと疲れて来ましたが…。

稲荷山 ぶらり散策記 越智重史



深草坊町に深草山と号する日蓮宗の瑞光寺がある。元政庵」とも呼ばれている。竹藪を背にした茅葺屋根の本堂は深草一の風情がある。私はこの寺の風景が好きで、散歩で良く立ち寄る。特に春、枝垂桜の咲くころは狭い境内ではあるが華やかである。堂内中央には日蓮上人直筆の大御本尊が祀られ、本仏釈迦如来坐像は胎内に添えた日護上人作の尊像がある。ただ近年、墓地造成のためか竹藪がかなり切り切られて風情が少々

急がねえは愛を 石動敬子



心もとなくなっている。明治の東海道線工事で、北側の番神山古墳(前方後円墳)が削られ、この寺の境内が二分されたという。狭いはずである。

、恐れ入るような残暑に秋の衣替えもままならなかった日々も過ぎ、月見る月になった。太陽光の力に山川草木は実りの時を迎え、惜しみなく恵んでくれる、新米、栗、芋の、梨、りんご、葡萄などごとくと収穫の秋。有り難いことである。

それにひきかえ天下国家の実りは？それどころか、ついに国会解散だという。成熟した文化国家の平成と云う時代に、大事なはずの政治が、政権争いの椅子取りゲーム化しあの手この手取り取りのゲームのようにがたがたしている。スポーツの試合なら断じて認められない禁じ手ばかり通り、恥も外聞も、折れ反れの礼儀もそっちのけで、既得権にしがみつく。大金を要する選挙に全力投球だから、われわれの生活はますます厳しい。

公約は思い付きや都合でコロコロかわり、疑惑の真相は隠されたまま。庶民の財布は8パーセントの消費税さえ重い。欲しがりません「国難」のとき、とも思えない中、汚職、利権も、底なしの垂れ流し。このでいたらくをだれが叱るのか。憲法だるうに。それを目の敵にするのが流行？次元の低いゲームの引き回して振り回されるのは疲れる。せめてマイライフをまもらねば。責任は重い、気晴らしのテレビや人のおしやべりが結構参考になる。あすが最終回のやすらぎの郷(倉本聰)なども。その主題歌、中島みゆきの「慕情」にしんとしてしまっただ。

丈山なども交友が深かった。本堂に掲げてある「寂音堂」の額は丈山の書といわれている。元政は、孝養心が篤く、親より早く死ぬことを最も不幸なことと考え、身の養生に心を砕いたという。両親の孝養のひとつに、夏場のやぶ蚊を追い払い涼しい風を送るために棗型団扇を考案した。元政型深草団扇といわれ、深草「うちわ」の発祥である。元政の墓は遺言により境内に竹3本を植えただけの簡素な塚であり、近所の人は「本竹」と呼んでいる。今風に言えば「樹木葬」であろうか。小指くらいの細い竹3本が生えている。寛文8年(1668)、46歳の入寂、

て迷っている場合ではない。で、始めた。思い出という感傷を思い、ギリギリの所まで未踏の地を行くに等しいけれど。私事だが長かった単身赴任を解消しようとの提案が突然きた。後回しで来た夫婦というページ。今更どんな夫婦？そんな夫婦の一例が、白夜の8月、北極圏グリーンランドの氷河、13キロの垂直の大岩壁に挑む山野井泰史、妙子夫妻の想像を絶する苦難の登攀をテレビで見た。自分のものである自由の最大活用という課題を改めて思った。

これまで無造作に蓄積してきた物たち、とうとう読めなかったもの、それっきりだったものなどの原生林に分け入る思いだ。しばし見入っては、ごめん、ありがとう、で進めるほかない。そうしてる間にも近づく選挙の十月である。つまりとどこ欲しいのは政権か。政治は政権と利権？私たちの暮らしがこれだけ脅かされて、次の世代に手渡すべき喜びが目減りし、戦争前であってはないのだから。急がねば、愛を。

母妙種は前年寛文7年(1667)に亡くなっている。この墓は奈良線で二分されたおかげで線路の向こう側にあるが、最近、鉄道をくぐる地下道が通じ、安心して参拝できるようになっている。

辞世の歌
鶯の山 常にすむてふ峯の月
かりにあらわれかりにかくれて
毎年3月18日には元政忌がとりおこなわれ遺宝展も開かれている。
※前号で「焼き鳥」紹介したが、団扇も「稲荷の 名物」と、編集者は始めて知った。



稲荷の 名物」と、編集者は始めて知った。

京都&東山 ぶらりピカリ

七条通 (25)



上は、七条通り梅小路公園の直ぐ傍に、近々新設される山陰本線「嵯峨野線」梅小路駅イメージ絵である。京都の東西の「条」の付く大通り七条通は、三、四条に比べものにならないほど程、地味な通りでなかつた。

七条通は、東の智積院から始まり、国立京都博物館、三十三間堂。そして百年以上、流されず鴨川東西交通を護った七条大橋、土木学会の選奨土木遺産を越え、下京区へ、更に西に進むと東・西本願寺・市民の台所、京都中央市場も有る。最近では、梅小路公園・水族館や鉄道博物館も有る通り。

こんなバイライティに富む大通りは、日本中で七条通りしかないと思う。然も京都駅に近く、京阪電鉄七条駅も有りアクセスも良い。その立地で有りながら、地味で、元気がない様に思う。何故だろうか！

戦後暫くは、貨物列車集積所？「梅小路」この辺りにあり、運送屋や保管倉庫が集まった地区。私事だが、この「梅小路」は、何かと思いが多い。マダ小学校(国民学校)の頃、物資不足、塩も配給時代。京都中の塩が「梅小路倉庫」にあり、一学区分の配給

用の塩を、業者が順番で引取り行く。父は兵役、祖父は徴用で、月間は男子は私(5年生)だけ。月輪学区の酒屋「お爺さん」さんと二人で引き取りに行った。倉庫で大八車に積み帰る七条通は、市電が通り山陰線と交わるその部分の七条線は、線路下けて通っていた。



参考写真。歩車道は山の形状でそれを越える。塩の積んだ「大八」で何度も挑戦、私も息が切れる程頑張ったが駄目。半分降ろし二度で越そうと、道端に下ろしていた。そこへ

サイドカー付きオートバイが止まり「憲兵」書いた腕章をつけた上官らしい方が、君達、何をしているのか」と尋ねられた。状況を聞いて「そうか！」と兵隊二人と共に降ろした塩袋を大八車に戻し、線路を越え、そのまま鴨川を越え我路まで、私等の車を押し運んでくださった。祖母が喜んで、お二人様に、商売物のサイダーをコップに入れたが、お気持ちは戴く」と言つて、敬礼をして去られた。

戦後、テレビで「月光仮面」を見た時、ふと、当時を思い出し、あの憲兵は「月光仮面」だったのかなあと思つた。あの戦時、あらゆる物資が不足。配給も途絶え勝だつたが、今と違つて、大情や親切心は品切れ無し」だった。何故、何時に「品切れ」が始まったのか考えよう！

市電が走った 京都を巡る



近衛通の停留場を出た市電

は、東大路通を南に進みます。今までは両側とも京都大学の構内でしたが、近衛通からは、東側には商店や小さなビルが建ち並ぶ街並みとなります。西側は、それまでの医学部構内から近衛通りで区切られて、京都大学医学部付属病院となり、両側は対照的な車窓風景が広がります。



近衛通に到着する市電

朝夕に急な冷え込みが感じられる頃でした。当時の建物も今は「掃き払い」の通りとなり、構内は、近代的な明るい雰囲気が感じられます。

京大病院が途切れるところにある東西の通りは春日上通です。ここから東へ行くと聖護院があります。明治まで皇族や摂関家が門主を務め、時の天皇の仮御所ともなつた格式高い寺院で、狩野派による豪華絢爛な障壁画に彩られています。また本山修験宗の総本山でもあり、法要の際多くの山伏が集まり、大規模な護摩修業が勤行されます。両側に商店が増え、くると、まもなく熊野神社前に到着です。

市電はここで丸太町線と交差します。丸太町線からは南へ曲がるポイントがあり、錦林車庫前から祇園経由で四条線へ入る系統もあり、市電の本数も多くあります。

停留場名の由来は、交差点北西に鎮座する熊野神社です。社伝によれば、弘仁二年(八二二)、紀州の熊野大神を勧請したことに始まります。熊野三山の別当職を兼ねる聖護院が近くにあることから、その守護神として建てられたと言われています。

応仁の乱により社殿は焼失しますが、再建されて江戸時代には整備されました。

当時は鴨川までの広い神域でしたが、市街地化や、市電の敷設工事などで狭められ、現在のような交差点に面する小さな神社となりました。熊野三山の神の使いと言われるヤタガラスは、日本サッカー協会のシンボルマークになっています。



街路樹の繁る東大路通を走る市電

今では、熊野神社にも「サッカーのお守り」があるそうです。

道路地図には、東山丸太町」とも記される交差点ですが、やはり熊野の交差点ではないかと来ません。もうひとつ熊野神社前と言えば、京都を代表する和菓子、八ッ橋が名物で、交差点周辺にはいくつかの店があります。この由来は、箏曲の開祖といわれる八橋検校が亡くなり、黒谷の金戒光明寺に葬られます。没後、黒谷の参道の聖護院の茶店で、箏の形に似た菓子「八ッ橋」と名付けて発売するようになった。

これが八ッ橋の始まりと言われ、今では、生八ッ橋や餡入り生八ッ橋など、さまざまなバリエーションがあり、京都土産の定番となっています。茶店の場所が聖護院へ至る道筋と言われ、いまも製造工場もあつて、八ッ橋のツキの香は、いい匂いが漂ってくるのも熊野神社前らしいところです。

何んだ坂 こんな坂

前号記
の小屋は、
その翌年
まで撤去

されなかった。翌年2月のある夜、木の扉を高く音がした。誰か！と声を掛けると。『です』と声、店のU君で、父の『急いで帰って来てくれ』と伝えて来た。取あえず、迎えに来たオート三輪に同乗し七条の店に帰った。

「何の用事」と、父に聞くと、「資金繰りが苦しい、帳面を見て呉れ」という。私は、高校でも「簿記」は学び、大学生になり。京都市産業局外郭 青色申告を指導する団体「公開経営指導協会」でバイトをしていたことも有り、ある程度の数字は読めてた。

店は、父のご乱行のスキで。得意先管理もスキが出来て、貸倒や社員の「使い込み」で「流動資産」は枯渇、倒産寸前の状況だった。が、借家や店の「不動産」を入ると、若干資産が多かった。今なら破産にならず「整理」すれば、再建の可能性は有るだろうと、父に言い、大口の仕入先、朝日麦酒(株) 江井ヶ島酒造(株) 協和発酵(株)にお声をかけ集まって貰った。が、三社だけでは無理と「債権者会議」が数度開かれた。結果は、債権者側半額出資、債務一時棚上げし「株式会社」に法人化して事業継続となった。債権者側から役員常駐と「私」の事業参加が付けられた。「共産党員トッセ」と言っただけだが、債権者側から

「仕事中には党活動をしなけらば良い」とまで言われ、当時の「京都府委員長」も、党の任務を解いて下さり、店の仕事に参加、「法被と前掛け」姿で、お得意先回りをし、夜は、地元の細胞今の支部仲間と「狂研」や「コーラス」等々で活発に動いていた。お陰で、一度も起訴されなかったがブタ箱や拘置署も入れて戴いた。が、後、党内で問題が起り、六年後離党した。

自分で言うのも変だが、幼年時代から極めて大人しい子だった私が、突然変異し、親しい人は驚かされたようだ。後、党内で嫌な問題が起り離党。その後、店の仕事の「酒屋」になった。が、当時の経験が有って、「とんからりん」や組織づくり等々、今に役立ち、有り難く感謝をしている。

朝晩涼しくなり、寝る時も暑さになされることは無くなりましたね。ただ昼間は、暑い時もあれば寒い時もあります。どちらにも対応できるように用意しておかなければいけませんね。秋はお祭りが多いです。

お正月。年中無休の店ばかりで、何だか普段と変わらない。行事ごとに店のディスプレイが変わるにせよ、数年前とは打って変わって四季の空気の移

十月と振り返る 月三天



木々の色 感心させします。
二人の描いた歌のないポップスに、茜色という曲があります。茜色と聞くと、夕焼け空を思い浮かべる方も多いかと思えます。この曲はどこか切なく、どこか懐かしく、目を閉じて聴いていただくと、真つ赤な夕焼け空を思い描いていただけたらと思います。

茜色

木々の色
感心させします。
二人の描いた歌のないポップスに、茜色という曲があります。茜色と聞くと、夕焼け空を思い浮かべる方も多いかと思えます。この曲はどこか切なく、どこか懐かしく、目を閉じて聴いていただくと、真つ赤な夕焼け空を思い描いていただけたらと思います。



木々の色 感心させします。
二人の描いた歌のないポップスに、茜色という曲があります。茜色と聞くと、夕焼け空を思い浮かべる方も多いかと思えます。この曲はどこか切なく、どこか懐かしく、目を閉じて聴いていただくと、真つ赤な夕焼け空を思い描いていただけたらと思います。

木々の色 感心させします。
二人の描いた歌のないポップスに、茜色という曲があります。茜色と聞くと、夕焼け空を思い浮かべる方も多いかと思えます。この曲はどこか切なく、どこか懐かしく、目を閉じて聴いていただくと、真つ赤な夕焼け空を思い描いていただけたらと思います。

木々の色 感心させします。
二人の描いた歌のないポップスに、茜色という曲があります。茜色と聞くと、夕焼け空を思い浮かべる方も多いかと思えます。この曲はどこか切なく、どこか懐かしく、目を閉じて聴いていただくと、真つ赤な夕焼け空を思い描いていただけたらと思います。

編集後記

社9月末決算の経理事務も重なり、作成が遅れ申し訳ありません。
お許し下さい。
▼気分は、マダ青年の心算ですが、やはり能力低下は否めません。そろそろ、この編集、作成、発行も止め様かと思っております。
▼毎日、朝5時前、起床し、乾布摩擦と体操をして、6時半には、マダマに出て勤務に入り、夜勤の子に「苦勞さん」と声掛けて。
▼自分で、年中無休のコンビニという仕事を選んだので自業自得ですが、83才で、チヨト応える様になりました。マダマ承りください。
▼来年満84才の3月1日号で発行を止め様と思案中！